

令和4年10月29日

保護者様

ふじみ野市立大井中学校
校長 本川 秀知

修学旅行・林間学校前の抗原定性検査の実施について

1 検査内容

この検査は、厚生労働省から承認された抗原定性検査キットにより生徒及び教職員が修学旅行・林間学校の行事前に新型コロナウイルス感染症の検査を行うものです。

2 検査方法及びスケジュール

(1)検査方法

- ・鼻腔ぬぐい液を、自分で採取して検査を行います。
- ・標準的な検査方法は、別紙「一般的な検査手順と留意点」のとおりですが、詳細は製品によって異なるため、使用前に検査キットに添付された説明書を確認し、理解のうえで、正しく使用してください。
- ・15分から30分程度で検査結果が分かります。

(2)スケジュール※土日祝日を除く日数

	①5日前(12/6)	②4日前(12/7)	③前日まで
学校	児童生徒へ検査キット配付		参加の可否決定
児童生徒・保護者	自宅で検査	陽性の場合、学校へ連絡	医療機関受診、診断結果を学校へ連絡

①行事5日前

児童生徒へ検査キットを配付します。保護者と一緒に自宅で検査してください。

②行事4日前

検査結果が陽性であった場合、学校へ連絡のうえ医療機関を受診してください。

③行事4日から前日まで

医療機関での確定診断の結果、陽性であった場合は修学旅行・林間学校へ参加できません。

3 その他

検査結果は確定診断にはなりません。結果が陽性の場合、医師の判断により、受診時に再度の検査を行うことなく、検査結果を確定診断に用いる場合があるため、検査キット本体は捨てずに、スマートフォンなどで検査結果を画像として保存し、受診時に提示できるようにしてください。

別紙

一般的な検査手順と留意点

<検体採取（鼻腔ぬぐい液の自己採取）>

- ①鼻孔（鼻の穴の入り口）から2cm程度綿棒を挿入する。
※綿棒を深く入れすぎないこと。
- ②綿棒を鼻の内壁に沿わせて5回程度回転させる。
- ③5秒程度静置し、引き抜く。
- ④綿棒が十分に湿っていることを確認する。



※他者による検体採取は感染等のリスクを伴う可能性があります。

<試料調製>

- ①採取後ただちに綿棒をチューブに浸す。
- ②綿棒の先端をつまみながら、チューブ内で綿棒を10回程度回転させる。
- ③綿棒から液を絞り出しながらチューブから綿棒を取り出し、綿棒を破棄する。
- ④各キットに付属する蓋（フィルター、ノズル、チップ等）をチューブに装着する。
- ⑤製品によってはそのまま一定時間静置する。

<試料滴下>

- ①チューブから数滴（製品により異なる）、キットの検体滴下部に滴下する。
- ②製品毎に定められた時間（15分～30分程度）、キットを静置する。

<結果の判定>

判定の方法については、各製品の説明文書や動画資料等を確認してください。

抗原定性検査の結果を踏まえて被験者が感染しているか否かについての判断が必要な場合は医師に相談してください。